

ろう通訳シンポジウムのご案内（宮城会場）

1960年代以前、ろう者が通訳を担っていた時期がありました。しかし、いまでは、手話通訳は聴者がするものと思われています。ところが、世界に目を向けると、通訳資格をもつろう者（CDI）が聴の手話通訳者（フィーダー）と連携して通訳する場を広げています。わが国でも、ようやく「ろう通訳」の必要性が認識され、昨年度は、東京、大阪、名古屋の3カ所でろう通訳シンポジウムを開催し、今年度から「ろう通訳者養成講座」を開講しました。しかし、大学のように体系だった養成の場はなく、公的な資格制度也没有。今回、みんなで「ろう通訳」の必要性について考えてみませんか。
*音声日本語への通訳がつきます。

日時：2016年2月28日（日）12:30-16:30（受付11:30～）

会場：仙台市シルバーセンター 第一研修室（7階）

会費：1,500円（一般）

*事前申込は不要です。

*NPO法人手話教師センター会員、同サポーター、学生の方は1,000円です。それぞれの会員証・サポーター証・学生証を提示してください。

*一般社団法人宮城県聴覚障害者協会の会員（賛助会員含む）も1,000円です。ただし、**事前申込が必要**です。詳しくは裏面をご参照ください。

定員：150名

基調講演

「ろう通訳者の将来を考える」

小野広祐

学校法人明晴学園 教頭
NHK手話ニュースキャスター



「ろう通訳士（CDI）について」

川上 恵

ろう通訳士（CDI）
ギャロ-デット大学大学院にて
通訳学修士取得



「CITやWASLI等にもみるろう通訳者とフィーダーについて」

前川和美

関西学院大学 非常勤講師



「ろう通訳者が働ける環境について」

春日幸三
日本ろう手話通訳派遣協会代表
ろう通訳者



「non-Deaf interpreter（聴の手話通訳者）の立場から」

飯泉菜穂子

世田谷福祉専門学校手話通訳学科 学科長
手話通訳士
元NHK手話ニュースキャスター



*CDI: Certified Deaf Interpreter ; 通訳資格のあるろう通訳者（ろう通訳士）

*CIT: Conference of Interpreter Trainers ; 手話通訳養成者会議（米国）

*WASLI: World Association of Sign Language Interpreter ; 世界手話通訳者協会

仙台市シルバーセンター

〒980-0013

仙台市青葉区花京院1丁目3番2号

アクセスについて

JR仙台駅（西口）から徒歩約8分

地下鉄仙台駅・広瀬通駅から徒歩約8分

花京院シルバーセンター前バス停から徒歩約3分



Google



※駐車場は収容台数が少ないため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
※シンポジウム最中の飲食はご遠慮ください。

一般社団法人宮城県聴覚障害者協会 会員の方の事前申込について

一般社団法人宮城県聴覚障害者協会会員（賛助会員含む）の参加費は1,000円です。
事前に下記までお申し込みください。

お名前／連絡先（fax番号もしくはメールアドレス）

*まとめてお申し込みになる場合は、代表の方が人数と会員の名前を全員分ご記入ください。

一般社団法人宮城県聴覚障害者協会 情報コミュニケーション委員会 担当 宛にお申し込みください。

メール miyarou@gmail.com

Fax : 022-293-5532

■ろう通訳シンポジウムに関する問い合わせ

特定非営利活動法人手話教師センター

メール haken@jsltc.org

Fax : 03-4579-0518